

News Release



平成27年11月17日

各報道機関文教担当記者 殿

11/21 第2回 SGH 研究大会 附属高校で食料安全保障問題について模擬国際会議！

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校は、文部科学省から「スーパーグローバルハイスクール (SGH)」の指定を受け (平成26年度から5年間)、本事業の管理機関である本学の支援のもと、「北陸からイノベーションで世界を変えるグローバル・リーダーの育成」を掲げ、シームレスな高大連携による人材育成プログラムの研究開発を行っています。

このたび、**第2回となるSGH研究大会を開催し、その中で公開模擬国際会議を実施します**。現在、附属高等学校2年生では本事業の一環として課題研究「グローバル提案」を行っており、世界の食文化や食料安全保障について調べており、今回の模擬国際会議では、**2年生全員が世界14か国の代表になりきり、「食料安全保障～2050年の世界をどう養うか～」を議題に議論を展開します**。学年生全員による**模擬国際会議を試みるのはこれが全国初です**。このほか、1年生の課題研究「地域課題研究」の成果発表なども行います。

つきましては、**当日の取材・報道をどうぞよろしくお願いいたします**。

第2回 SGH 研究大会・第25回 高校教育研究協議会

日時：平成27年11月21日 (土)

内容：「教科のSGH化」の授業及び「グローバル提案」(模擬国際会議)、「地域課題研究」生徒発表を公開し、本校のSGH事業について報告する。

助言者：京都大学教育学研究科 西岡加名恵准教授

9:30 9:45 10:00 10:50 11:05 11:45 12:45 14:10 14:35 14:50 16:25 16:30

開会行事	移動	教科SGH化 公開授業	休憩・移動	公開授業 整理会	昼食・休憩	地域課題研究 生徒発表		休憩・移動	研究協議会	閉会行事
						グローバル提案 模擬国際会議				

場所：金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校(金沢市平和町1-1-15)

詳細：**別添案内のとおり**

(参考) 文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」とは

国内の大学や企業、国際機関等と連携を図り、国際的に活躍できる人材の育成に取り組む高等学校をスーパーグローバルハイスクール(SGH)として指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を支援する文部科学省事業。

「スーパーグローバルハイスクールについて」文部科学省
http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/sgh/

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校HP
<http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/kfshs/>

(本件紹介先)

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 主幹教諭 山本 吉次 Tel : 076-226-2158

(担当)

金沢大学総務部広報室 本庄 淑子 Tel : 076-264-5024

金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係 紙田 智恵 Tel : 076-226-2154

都道府県教育委員会教育長殿
 高等学校長殿
 中学校長殿
 国立大学附属学校長殿

平成 27 年 9 月 吉日

金沢大学グローバル人材育成推進機構 SGH 特区教育センター長 柴田 正良
 金沢大学附属高等学校長 大谷 実

第 2 回 S G H 研究大会・第 25 回高校教育研究協議会ご案内

秋冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本校は、文部科学省が平成 26 年度から開始しているスーパーグローバルハイスクール (SGH) に指定され、本年度は 2 年目に入りました。本校の構想名は、「北陸からイノベーションで世界を変えるグローバル・リーダーの育成」です。本構想では、北陸地域から高大連携によりイノベーションを創生できるグローバル・リーダーを育成するプログラムを提案するため、相互に関連する 3 つの研究開発を行います。Ⅰ. 地域から世界へと発展する一貫した課題研究カリキュラムの開発、Ⅱ. 課題研究の質を高める外部資源活用方法の開発、Ⅲ. 課題研究の基礎をなす既設教科の内容と方法の改善 (教科の SGH 化) です。これらの研究開発を進めるため、生徒に対しては 4 つの課題研究を設定しました。「地域課題研究」、「異文化研究」、「グローバル提案」、「グローバル・キャリアパス」です。

本研究大会では、国語科 (現代文)・地歴科 (世界史 A)・公民科 (現代社会)・理科 (生物基礎) における「課題研究の基礎をなす既設教科の内容と方法の改善 (教科の SGH 化)」の実践を公開します。現在進行中の「地域課題研究」における生徒の研究発表、及び「グローバル提案」における「模擬国際会議」についても公開します。あわせて、本校の SGH の取り組みについて報告し、「パフォーマンス評価」について詳しい京都大学大学院教育学研究科の西岡加名恵先生のご助言をいただきます。

本校の SGH 事業は 2 年目に入りましたが、本校の実践に対するご批判、ご教示を賜り、より良い事業に育てていきたいと考えております。また、本研究会を通して SGH 事業構想の普及に貢献できればと存じます。つきましては、公務ご多忙の折とは存じますが、貴校・貴職の先生方に多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

1. 主 催 金沢大学 SGH 特区教育センター 金沢大学附属高等学校
2. 日 時 平成 27 年 11 月 21 日 (土)
3. 会 場 金沢大学附属高等学校 〒921-8105 金沢市平和町 1 丁目 1 番 15 号
 TEL (076) 226-2154 (代表) FAX (076) 226-2150

4. 日 程

8:30 9:30 9:45 10:00 10:50 11:05 11:45 12:45 14:10 14:35 14:50 16:25 16:30

受付	開会行事	移動	教科 SGH 化 公開授業	休憩・移動	公開授業 整理会	昼食・休憩	地域課題研究 生徒発表	休憩・移動	研究協議会	閉会行事
							グローバル提案 模擬国際会議			

5. 開会行事 (9:30~9:45)

- ・ 学校長挨拶 大谷 実 (金沢大学附属高等学校校長・人間社会学域学校教育学類教授)
- ・ 諸 連 絡

6. 「教科の SGH 化」公開授業 (10:00~10:50) 整理会 (11:05~11:45)

学年	教科(科目)	内 容	授業者
1 年	地理・歴史 (世界史 A) 「移民」と「国民」	世界史という科目は、もともとグローバルという要素を多く含んでいます。その中でもさらにグローバル性の強い「移民」を取り上げることによって、現在の「国民」あるいは「国民国家」とは何かということまで考えさせられればと思っています。	塚田 章裕
1 年	公民 (現代社会) 「私の体は本当に私のものか？」	テーマを起点に生命倫理や規範について多面的・多角的にアプローチし、「幸福」「正義」「公正」とは何かを考察し、グローバル社会の課題である様々な価値観の対立を乗り越えられるような枠組みを作っていきます。授業は、共同研究者である金沢大学山本英輔教授と TT で行います。高大連携の効果的な実践をご覧ください。	前田 健志
2 年	国語 (現代文) 「こころ」他	英国留学という異文化体験を得た夏目漱石の作品を読み、越境体験が与えた影響という視点で文章を捉え、並行読書により他の越境者達の文章を読み比べ、グローバル化が進む現代に通じる文化受容のあり方を考察します。	金森 久貴
2 年	理科 (生物基礎) 課題研究発表	生徒が、日常生活や小説、アニメ等で疑問に思った生命現象等について調べ、生物学的に考察、分析を行いました。そのうちのいくつかのプレゼンテーションを発表します。 後半は、色素、色から、ヒトの多様性、適応について考えます。	深田 和人

7. SGH「地域課題研究」生徒発表 (1 年生) (12:45~14:10)

「地域課題研究」は石川県内を対象に「地域や人々を幸せにする方法を提案する」ことを目指します。4月から金沢大学や企業・自治体の協力を得ながら地域理解を深めつつ研究を進めてきました。本研究協議会では、各クラスの代表チームの研究成果を発表します。

8. SGH「グローバル提案」模擬国際会議 (2 年生) (12:45~14:35)

2年生全員が、世界 14 か国の立場になりきり、「食料安全保障—2050 年の世界をどう養うか—」というテーマで模擬国際会議を行います。地域課題研究・異文化研究で培った力に加え、今回は交渉し・合意形成していく力を存分に発揮してくれると思います。楽しく総合的・主体的・協働的な学びをしている生徒をご覧ください。

9. 研究協議会「本校のSGHの取り組み」(14:50~16:25)

- ・管理機関挨拶 柴田 正良 (金沢大学 SGH 特区教育センター長・金沢大学教育担当理事)
- ・本校のSGHの取り組み 山本 吉次 (金沢大学附属高等学校研究部主任・学内教頭)

昨年10月4日に開催した第1回SGH研究大会では、本校がSGHに応募した経緯、管理機関金沢大学の取り組み、1年生を対象とする課題研究「地域課題研究」を中心とする、平成26年度前半までのSGH事業の実践について報告しました。

今回の研究大会では、平成26年度後半に実践した1年生対象の「異文化研究」(日台文化比較)の取り組み、及び平成27年度前半に実践した2年生対象の「グローバル提案」(「食料安全保障問題」を議題とする模擬国際会議)の取り組みを中心とする、SGH事業の実践について報告します。あわせて、本校がSGH事業を実際に進めるにあたって抱えた課題、及びその課題克服への模索について報告します。

- ・助言 京都大学大学院教育学研究科准教授 西岡 加名恵 先生

京都大学大学院教育学研究科修士課程修了。英国バーミンガム大学にてPh.D. (Education) を取得。鳴門教育大学講師を経て、2004年4月より現職。専門は教育方法学(カリキュラム論, 教育評価論)であり、学校におけるカリキュラム改善に関心を持っている。文部科学省「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」委員(2012年12月~2014年3月)なども務めている。主著に、『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法』[単著](図書文化, 2003年), 『「活用する力」を育てる授業と評価 中学校—パフォーマンス課題とルーブリックの提案』[共編著](学事出版, 2009年), 『新しい時代の教育課程(第3版)』[共著](有斐閣, 2011年), 『新しい教育評価入門』[共編著](有斐閣, 2015年)など。

11. 会場への順路

(1) JR 金沢駅から

- ・バス： 東口北鉄バスのりば⑩番から「平和町」「金大附属学校・自衛隊前」方面行き（20番・21番・22番・25番系統）に乗車，「金大附属学校・自衛隊前」で下車。（約30分，バス料金240円）

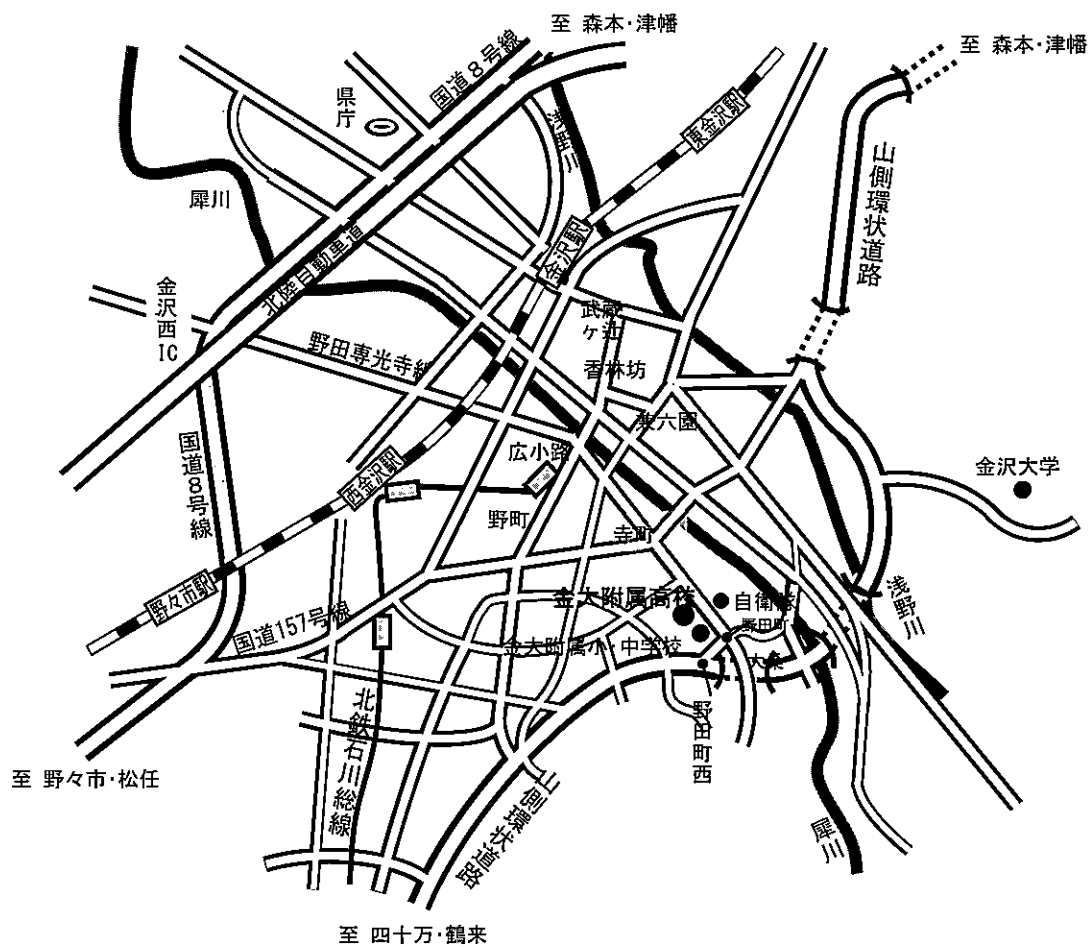
*「平和町」行きの場合は，終点「平和町」より徒歩3分。

- ・タクシー： 平和町・金沢大学附属高等学校まで（約25分，料金約2,500円）

(2) 自家用車

北陸自動車道・金沢西インターより，西インター大通り（野田専光寺線）を直進。（約30分）

山側環状道路をご利用の場合は，野田町西交差点から北に入り，最初の信号（野田町交差点）を寺町方面へ左折してください。（駐車場は校内にあります）



12. その他

- (1) 昼食 準備の都合上，ご希望の方は参加申込書にご記入下さい。（料金1000円）
- (2) 宿泊 各自ご手配下さい。